



江戸・明治時代からいきづく モノづくり・健康づくり ～愛知の食文化と健康～



■基調講演 「健康づくりにおける企業の役割」

近藤克則（千葉大学 予防医学センター 社会予防研究部門 教授
国立長寿医療研究センター 老年学評価研究部 部長）

～シンポジウム～

■座長

近藤克則（千葉大学 予防医学センター ・ 国立長寿医療研究センター）

荒木田美香子（国際医療福祉大学 保健医療学専攻 看護学分野 教授）

■演者

「食を通じて社会問題の解決に取り組む」

カゴメ株式会社 松尾康秀氏

「ミツカン直伝！知って得する！酢的なお酢の活用法」

株式会社Mizkan Partners 井戸佳生氏

「人と人のご縁をつなぐ“ゆかり”」

株式会社坂角総本舗 大島泰子氏



江戸、明治時代から続く企業の商品開発や販売戦略が人々の健康や生活の質（QOL）にどのように貢献しているのでしょうか。「モノづくり」の視点から食文化を学び、消費者である人々の健康について考えます。

2017年8月30日（水） 14:30～16:00

東海市芸術劇場 4階大ホール 第1会場

参加費：無料

お問い合わせ：学術集会運営事務局 名鉄観光サービス(株)名古屋中央支店

Tel.052-586-4545 Fax.052-586-4050 e-mail.jsnr43@mwt.co.jp

後援／東海市 公益社団法人愛知県看護協会 日本福祉大学